



水コン協 活動報告

(令和3年7月～11月)

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／専務理事 内田 勉



本協会の活動に対しまして、日頃よりご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。令和3年7月から11月までの本協会の主な活動状況は下記のとおりです。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響は今なお続いておりますが、ワクチン接種進捗等により感染者数は急激に減少し、9月末に全国で緊急事態宣言が解除されました。

各委員会の会議や講習会等では通常的手法としてwebを利用するようになりました。また、コロナをきっかけにして業務の効率化も図られました。

当協会の活動状況については、随時、当協会HPに掲載しておりますので、こちらをご覧ください。「水コン協」で検索できます。

I 下水道展'21大阪への参加

下水道界最大のイベントである「下水道展'21大阪」は、8月17日から20日の4日間にわたりインテックス大阪で開催されました。今回はコロナ禍での開催となり、主催者により徹底した感染症拡大防止対策を実施して開催されました。コロナの影響により来場者数は例年より大幅に少なく、下水道展全体で12,825人でした。水コン協ブース来訪者はクイズラリー参加の子供らを含め341人でした。

また、併催企画として、会期2日目の18日午後に「下水道コンセッションを考えるシンポジウム」を開催しました。日本大学の森田弘昭教授による基調講演と、各界関係者によるパネルディスカッションを行いました。会場参加で約60名、ウェビナー同時配信参加で約200名の参加がありました。

II 国土交通省への提案活動

10月4日、正副会長が国土交通省下水道部長等幹部を訪問し、提案・意見交換を行いました。提案の内容は「ポストコロナおよび持続可能な社会に向けた下水道事業推進の提案」で、①下水道事業の着実な事業執行と予算確保、②災害の甚大化・多発化に対して防災・減災・強靱化の加速、③カーボンニュートラルに向けた下水道のグリーン化推進、④下水道のデジタルトランスフォーメー

ション(DX)の推進、⑤持続可能な下水道事業に向けた官民連携事業の推進、の5項目でした。ポストコロナへの対応、強靱化、グリーン化、DXなど幅広く意見交換を行いました。

III 働き方改革セミナー

11月11日に「働き方改革セミナー」を開催しました。今年度は建コン協との共催でなく、水コン協単独の主催で、また、zoomウェビナーによるオンラインのみのセミナーとして開催しました。

プログラムは、日本技術サービス(株)専務取締役の鳥井総司さんによる講演「働き方改革の取り組みについて」、コンサルタント3社((株)日水コン、中日本建設コンサルタント(株)、(株)三水コンサルタント)による働き方改革の事例紹介、総務委員長による報告「コロナ禍の働き方・職場環境の変化に関するアンケート調査結果について」でした。約200人の参加がありました。本セミナーにより、会員各社における働き方改革の一層の推進が期待されます。

IV 災害時支援者育成講習会

11月19日、災害時支援者育成講習会を開催しました。昨年度に引き続き、zoomウェビナーによるオンラインのみのセミナーとして開催しました。また、会員以外も参加可能としました。

災害査定資料作成業務は業務を経験する機会が少ないことから、継続的に災害復旧業務に関する知識を有する災害時支援者を養成していくことが必要と考え、昨年度から本講習会を毎年継続的に実施することとしています。講師は、災害時支援者育成小委員会メンバーが担当しました。約300人の参加がありました。

V 事業の概要

凡例 ()内は、公益社団法人事業の区分

公益目的事業 = (公)

その他の事業(相互扶助等事業) = (他)

《 》内は、中期行動計画の行動項目分類

【 】は、担当する委員会名又は支部名

1 調査研究・資料収集（公）

1) 調査研究（独自） <2-①-A>

- ①主要刊行物リスト更新 HP更新 【技術・研修】
- ②業務成果の概要 HP更新 【技術・研修】

2) 調査研究（受託） 【受託調査研究】

【令和3年度受託】

〔(公社) 日本下水道協会〕

- ①下水道統計調査項目見直し検討業務<令和2年度からの継続業務>
- ②下水道土木工事必携（案）改定に伴う補助業務（その2）
- ③下水道用設計積算要領－ポンプ場・処理場施設（機械・電気設備）編－改定に伴う補助業務委託（その2）
- ④下水道用歩掛検討委員会歩掛改定に伴う調査設計に関する補助業務委託
- ⑤令和3年度管路更生工法検討調査専門委員会に係る補助業務委託
- ⑥令和3年度下水道施設の耐震対策指針等改定調査専門委員会に係る補助業務委託
- ⑦「小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説」改定に伴う調査業務委託（その2）
- ⑧「下水道用設計積算要領（土木総説編）」改定に伴う補助業務
- ⑨令和3年度下水道台帳管理システムに係る調査業務その2
- ⑩下水道施設耐震対策指針（管路施設）の改定に関する補助業務委託（その10）
- ⑪下水道施設耐震対策指針（処理場・ポンプ場施設）の改定に関する補助業務委託（その10）

〔(公社) 日本水道協会〕

- ⑫水道施設耐震工法指針・解説の改訂に向けた調査業務及び支援業務<令和2年度からの継続業務>
- 〔北海道大学〕
- ⑬広域水管理に関する研究におけるデータ収集と一部作図業務委託

3) 出版及び情報発信【水坤編集】【対外活動】【支部】

- ①「水坤」vol.62（令和3年8月） <1-③-A> 【水坤編集部会】
「上下水道事業の対応力～困難に立ち向かう～」
配布先：会員、地方公共団体、大学、下水道展 '21大阪、その他（発行部数 4,650部）

4) 要望活動 <1-②-B><2-③-A>

- ①要望と提案活動資料の更新 7月【対外活動】
【北海道】
- ②「令和3年度 要望と提案」・「支部会員名簿」を事業体へ配布 9月

【東北】

- ③支部会員名簿を関係事業団体等へ配付 8月

【関東】

- ④（公社）日本水道協会関東地方支部総会におけるPR活動 7月21日(休)
内容：総会が変則開催となったため、関東地方支部事務局を通じ正会員235会員に上下水道コンサルタントの活用案内資料をメールにて送付。
- ⑤要望と提案活動 8月23日(月)～10月15日(金)
内容：協会の「要望と提案」に基づき、役員及び正副委員長による12班編成での訪問要望活動。今年度は新型コロナウイルスの影響で、対面活動に加え、郵送等による活動を実施。
- ⑥日本下水道事業団との実務責任者会議 10月8日(金) JS会議室
内容：JS東日本設計センターとの事務者協議で、コンサルタントからの要望事項及び日本下水道事業団からの伝達事項について協議。

【関西】

- ⑦要望と提案活動
2府4県、363自治体に要望と提案資料、水坤夏号を送付 10月13日(休)
要望と提案資料、支部会員名簿を2府4県（大阪市、和歌山市等）へ訪問または資料送付（堺市等）による要望活動を実施 10～11月
- ⑧令和3年度要望と提案活動 8月～10月
内容：協会の要望と提案資料及び支部会員名簿を基に、中国・四国地方9県の市町村への訪問等による要望提案活動

5) 提案活動 <1-②-B><2-③-A>

- ①中期行動計画進捗管理 【企画】【支部】
- ②国土交通省への提案・意見交換 10月

2 育成（公）

1) 学校への働きかけ <1-③-A>

- ①大学・学生向けツールの作成 【対外活動】【総務】【支部】

【関東】

- ②上下水道コンサツタント周知協力活動 10月
内容：本部からの依頼を受け、次代の人材確保に向けた学校訪問等による上下水道コンサルタントの啓発活動。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、訪問はせず、対象53校に対し事務局より資料を郵送。

2) 講習会

- ①第31回技術研究発表会（オンライン）

6月29日(火) 396名

内容：技術報告集（第35号）発表用資料

- ②下水道展21併催企画「下水道コンセッションを考えるシンポジウム」

8月18日(水) インテックス大阪 会場60名、Web200名

【中国・四国】

- ③日本技術士会共催講演会

8月22日(土) 140名 第3ウエノヤビル

内容：これからの地方の水インフラについて/日本下水道事業団におけるBIM/CIMへの取り組みについて/広島市水道事業におけるリスク対応策について

- ④ダクタイル鉄管協会共催セミナー

10月28日(水) 161名 広島県民文化センター

内容：水道第四世代の創生について/小規模化が進む水道システムを考える～地元管理水道から水道料金問題について～

- ⑤「給配水システムの耐震化について」共催説明会

11月25日(木) 14名 広島サンプラザ

内容：高性能ポリエチレン管の特徴と性能について/給水装置の体指化について/キャラバンカーによるエスロハイパーの性能実演

3) 委員等の派遣 <1-③-A><2-②-A>

- ①厚生労働省

東日本大震災水道復興支援連絡協議会 1名

- ②国土交通省

「下水道技術開発会議」 1名

- ③(公財)水道技術研究センター

「水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に関する研究」 1名

「多様な社会・技術に適応した浄水システムに関する研究(A-Dreams)研究委員会」 1名

- ④(公社)日本水道協会

「水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会」機械・電気設備小委員会 1名

- ⑤(公社)日本下水道協会

「下水道政策研究委員会・脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会」 1名

「ISO/TC224下水道国内対策委員会」 1名

「下水道共通プラットフォームあり方検討委員会」 1名

- ⑥(公財)日本下水道新技術機構

「審査証明委員会」 1名

「管路技術共同研究委員会」 1名

「技術委員会」 1名

「下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」 1名

4) 講師の派遣 <1-③-A><2-②-A>

- ①(公社)日本水道協会

「水道施設耐震技術研修会」 4名

- ②日本下水道事業団

「総合的な雨水対策 新しい雨水計画について」 1名

「総合的な雨水対策 下水道における雨水排除計画及び演習」 1名

「総合的な雨水対策 雨水流出解析の解説・演習」 1名

- ③(公財)兵庫県まちづくり技術センター

「水道事業担当者研修」 1名

【北海道】

- ④(一財)北海道建設技術センター

「令和3年度下水道実務研修会【ライブ配信】」

講師1名 11月9日(火)

- ⑤北海道大学工学部

「水道・下水道システムにおける設計製図」 講師8名
(延べ) 10月7日(木)～11月25日(木) 計8回

【東北】

- ⑥実務者研修・技術講習会 10月20日(水) 69名

内容：マンホール蓋のストックマネジメントの進め方/下水道防食技術について/上水道防食技術について/下水関連施設におけるドローンの活用について/非開削探査装置「エスパー」を用いた埋設物・空洞等の探査技術について/管きよ更正工法の概要及び設計のポイントについて

【関西】

- ⑦(公財)兵庫県まちづくり技術センター

内容：災害時の支援について、雨水対策手法について、下水道事業におけるBCP策定手法、管渠のストックマネジメント計画の策定手法、施設のストックマネジメント計画の策定手法

11月11日(木) (12月配信) 講師5名派遣

三宮研修センター

【九州】

- ⑧(公財)佐賀県建設技術支援機構

内容：下水道施設の計画・設計事例・下水道事業のコスト縮減への取り組み 7月15日(木) 2名

ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア

- ⑨(一財)熊本県建設技術センター

内容：管渠更生工法に関する技術動向、管渠改築更新における施工管理について

9月17日(金) 1名 (一財)熊本県建設技術センター

3 災害時支援 <3-③-A> (公)

- ①災害時連絡訓練 7月27日(火)～29日(木)

【災害時支援】【支部】

- ②災害時支援者育成講習会(オンライン)

11月19日(金) 300名

【災害時支援】【支部】

【北海道】

③「災害時における上下水道コンサルタントの情報提供に関する協定」の締結（公益社団法人日本水道協会北海道地方支部） 7月16日(金)

④北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議（書面開催） 7月27日(火)

⑤北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議 情報伝達訓練 9月30日(木)

【東北】

⑥北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議（書面開催） 7月27日(火)

⑦北海道・東北ブロック情報伝達訓練（支援要請）支援 9月30日(木)

【関東】

⑧災害時支援協定締結協議
内容：大和市下水道施設災害時支援協定の協議実施。

⑨災害時支援協定締結都市との連携活動
内容：横浜市下水道BCP図上訓練視察 11月5日(金)

【中部】

⑩下水道事業災害時中部ブロック連絡会 情報伝達訓練 7月28日(水)

⑪下水道事業災害時中部ブロック連絡会議（Web） 9月14日(火)

【関西】

⑫水コン協、支援協定締結団体災害時情報伝達訓練 関水コン事務所 7月27日(火)

⑬近畿ブロック災害時支援連絡会議（WEB会議） 9月10日(金)

⑭近畿ブロック情報伝達訓練（第2回）関水コン事務所 10月26日(火)

【中国・四国】

⑮「災害時支援協定の締結（広島県及び23県内下水道事業者）」 7月19日(月)

【九州】

⑯災害時における災害復旧支援業務に関する協定の締結（佐賀県鳥栖市） 10月1日(金)

⑰九州・山口ブロック下水道事業災害時支援体制連絡会議 11月11日(木) 宮崎県庁会議室

4 資質向上（他）《2-②-A》 《2-④-A》

①働き方改革セミナー（オンライン） 11月11日 約200名 【総務】

【北海道】

②改正民法および公共土木設計業務等標準委託契約約款に関する講習会 3団体共催 7月13日(火)
内容：改正民法および公共土木設計業務等標準委託契約約款について

③コンプライアンスに関する研修会 3団体共催 11月24日(水)

内容：働き方改革関連法に関するコンプライアンスと With コロナ時代の働き方改革

【東北】

④「独占禁止法」及び「メンタルヘルス」研修会（ライブ配信） 9月27日(月) 6団体共催 66名

⑤次代を担う技術者研修会（Web研修） 11月18日(木) 19名

【関東】

⑥若手社員研修会 11月2日(火) ZOOMミーティングにて開催
テーマ：「問題を解決するためのコミュニケーションとは・・・」

⑦コンプライアンス勉強会 11月5日(金) ZOOMウェビナーにて開催
テーマ：令和元年独占禁止法改正により導入された新制度について

【中部】

⑧令和3年度第1回技術講習会 7月15日(木) 中日本大会議室（対面参加22名、ウェビナー参加60名）
内容：テレワークにおける課題と事例（倫理講習）／水道事業が抱える課題への取り組み「新しい水道のかたち」／非開削でのマンホール自立更生工法への挑戦「ジックボード工法」／コンクリート防食被覆工法「BKU工法（型枠工法・成型品型後貼り工法）」

【九州】

⑨コンプライアンス研修会（建設関連5団体共催）
内容：独占禁止法の最近の状況と対応について 11月10日(水) 196名（水コン協18名）（公財）福岡県中小企業振興センター

5 イベント活動等（他）《1-③-A》

①下水道展21出展 インテックス大阪 8月17日(火)～8月20日(金) 【対外活動】【支部】

【北海道】

②水循環パネル「私たちの大切な水」～豊かな地球 大切な水～のパネル貸出及びパンフレット配布
内容：新ひだか町「上下水道パネル展」に貸出 7月31日(土)～8月6日(金)

【東北】

③広瀬川1万人プロジェクト（第30回広瀬川流域一斉清掃） 10月2日(土) 40名

【関東】

④第18回「身近な水環境の全国一斉調査」 6月5日(土) 120名

【中部】

⑤下水道科学館あいち「夏だ！ワクワク科学館まつり2021」に参加 8月7日(土) メタウォーター下水道科学館あいち

内容：水コン協ブース設置(水の重要性のアピールと、簡単なゲームを通して、上下水道の啓もう活動を実施)

【中国・四国】

- ⑥建設技術フォーラム2021inちゅうごくへの協賛
広島市内(オンライン会場) 11月18日(木)、11月19日(金)

6 厚生事業等(他)

- ①水コンサルタント賠償責任保険事業 【総務】

V. 会議の開催

1. 業務執行理事会

- 1) 第20回業務執行理事会 9月2日(木)
令和3年度事業計画執行状況/第二期中期行動計画進捗管理/下水道展'21大阪報告他
審議結果の要旨：決議議案については、すべて決定等がなされた。

支部における社会貢献活動

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会／調査課長 幡豆英哉

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）の各支部では、それぞれの地域で開催される水環境や上下水道にかかわる各種イベントや社会に貢献できる活動に積極的に参加しています。

令和3年も、新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、イベントの多くが中止となりましたが、各支部が参加した社会貢献活動を以下にご報告致します。

(1) 「水循環パネルの貸し出し事業」 北海道支部

北海道支部では支部で作製した水循環パネルを、毎年様々な会場へ貸し出しを行っています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相



写真-1 足寄小学校での活用状況 (1)



写真-1 足寄小学校での活用状況 (2)

次ぐ中、5月19日～6月24日に「足寄町」、7月31日～8月6日に「新ひだか町」へそれぞれ水循環パネルをお貸しして、パンフレットを配布いたしました。足寄町では小学生の上下水道に関する授業で活用していただきました。新ひだか町では「上下水道パネル展」で会場の新ひだか図書館博物館及び総合町民センターで展示及びパンフレットの配布をしていただき、訪れた多くの方々に水循環への理解を深めていただきました。

(2) 「広瀬川1万人プロジェクト～第30回 広瀬川流域一斉清掃～」 東北支部

開催日時：2021年10月2日（土）10：00～12：00

広瀬川1万人プロジェクトは、杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開しています。主な活動は、春と秋に実施している流域一斉清掃です。

令和3年度もコロナウイルス感染拡大の影響を受け、春の一斉清掃が中止となり、さらには秋の一斉清掃もまん延防止等重点措置の延長を受け、開催が危ぶまれましたが、日程の延期、参加人数の制限、感染対策の強化等を行い、開催に至りました。

そのような状況の中、今回の参加者数は、全17会場で1,072名、集めたゴミは220袋（昨年214袋）になり、規模が縮小されたとは言え、大変有意義な清掃活動となりました。水コン協東北支部は、今回で14回目の参加となり、会員14社（昨年15社）から40名（同47名）の方々が参加しました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

清掃作業は、朝から快晴でしたが、前日の大雨の影響で足元が悪く、また背丈の伸びた草が茂り、良いコンディションとは言えない中で、みなさんゴミを見つけ出すのに大変苦労していたようです。例年に比べてゴミの量が少なかったため、定刻より早めに作業終了となりました。

水コン協東北支部では、これからも多くの市民が広瀬川に親しめるよう、流域の自然環境を守る活動に貢献していきたいと思っています。



写真-3 清掃作業に汗を流す東北支部の皆様 (1)



写真-4 清掃作業に汗を流す東北支部の皆様 (2)



写真-5 (株) 日水コン天野正秋様のご家族



写真-6 水コン協本部鈴木美保様のご家族

(3) 第18回「身近な水環境の全国一斉調査」関東支部

「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと河川管理者が連携して実施する「全国水環境マップ実行委員会」が主催して行う水環境の調査活動で、2020年の調査までに全国で延べ約11万7千人が参加しています。

18回目となる「身近な水環境の全国一斉調査」は、令和3年6月6日(日)《※世界環境デー(6月5日)に近い日曜日》に実施され、関東支部からは会員会社9社及び本部事務局の社員とその家族の合計120名(大人87名、子供33名)が水質調査に参加しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中、本調査にご参加いただきありがとうございました。

調査地点は、参加者が生活されている地域の身近な河川・湖沼等の79地点で、COD測定と水辺の環境や動植物について観察を致しました。昨年度は86名(大人73名、子供13名)、58地点で水質調査に参加しましたので、新型コロナウイルスのよる外出自粛のため、令和3年度は大幅に参加者が増えました。

毎年、参加された方あてに、この調査活動についてのアンケートをお願いしていますが、参加された方からは「身近な水環境に対し私だけではなく、少しでも子供に興味を持ってもらいたく昨年から参加させて頂いています。ひと昔前と比べると河川もだいぶきれいになったと感じています。」「子供たちにとって、大変学習になるイ

ベントと考えています。ぜひ、続けていただきたいです。」などの感想がお寄せいただきました。

(4) 「出前授業」の実施

中部支部

新型コロナウイルスの影響により出前授業の開催が心配されましたが、名古屋市立栄小学校の先生と生徒の皆様のご協力により8回目を開催することができました。

今年の会場は昨年の体育館から従来の視聴覚室での開催ができ、生徒の皆様との距離がぐっと近くなり質疑応答も楽しくできました。

開催にあたり各委員の検温・手指消毒・マスク着用及び室内の換気を行い感染防止対策にも留意しました。

この「出前授業」は、上下水道の仕組みを学ぶ小学4年生を対象に、通常の授業の1コマを頂いて「下水道の仕組み」について子供たちと一緒に学ぶもので、授業の内容は以下の2つです。

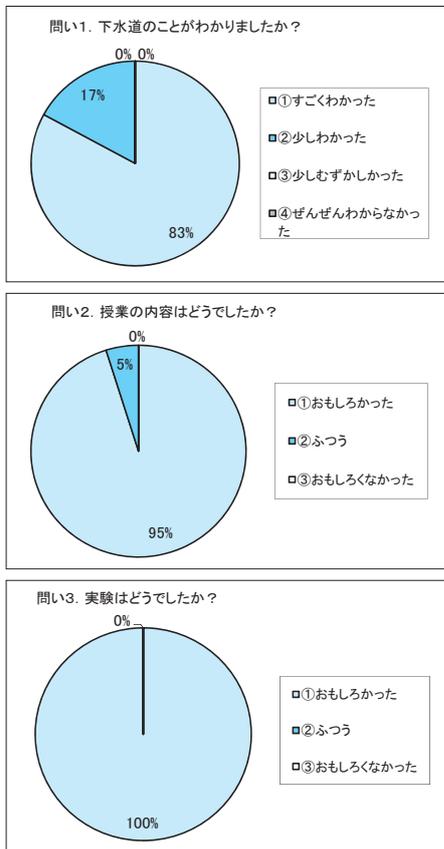
- ① 下水道協会のHP スイス君を用いた「下水道の仕組み」の説明。



写真－7 出前授業の様子



写真－8 下水道橋博士による授業の様子



図－1 出前授業のアンケート調査結果

② 「なぜティッシュを流していけないの？」と題した、トイレットペーパーとティッシュの簡易な溶解実験。(妖怪(ようかい) 実験室…と命名！)

「下水道の仕組み」の授業では下水道橋博士が下水道の仕組みとともに水の大切さと「溶解実験」ではでんごろう先生がティッシュペーパーは水に溶けにくいいため、トイレにはトイレットペーパーを使用することなど正しい使用方法について授業を行いました。

図－1のアンケート結果のとおり、授業に対して興味を持って頂くことができ、授業の終わりには先生と生徒のみなさんから“ありがとうございました”の言葉をいただくとともに、来年の開催についても期待を寄せられました。

(5) 「愛知県下水道科学館 科学館まつり2021」

中部支部

中部支部では毎年管内の「下水道フェア」に協賛参加しています。愛知県の流域下水道フェアへはじめて参加してから十数年継続し、ここ数年は愛知県下水道科学館の科学館まつりと富山県の下水道フェスタと交互に参加しています。

令和2年は、新型コロナウイルスの影響により下水道フェアへの参加ができませんでしたが、令和3年は愛知県下水道科学館での「科学館まつり2021」に参加することができました。

具体的な活動内容・目標は以下のとおりです。

① 「ゲームDEゲット!!」と題して、簡単なゲーム(ボウガンダーツ)で、賞品として冷たく冷やした「中部各地のおいしい水」を配布し、我々が活動している中部地区の「水」のおいしい水を体験して頂く。



写真－9 中部支部マスコット「エアリス」のパフレット (パフレットは下記の中部支部HPからダウンロードできます。)

URL: <https://www.suikon-chubu.jp/action/earis.html>

② 水コン協の活動を知って頂く（エアリスのパンフレット・団扇の配布）。

賞品の「水」は中部地区の自治体等が販売している「ボトル水」で、近年は活動の趣旨をご理解頂き、「無償提供」して頂ける自治体が増えております。この誌面をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、当日は天候にも恵まれ、大人・子供を問わず約250名の来場者の方にボウガンダーツを楽しんで頂き、中

部各地の「ボトル水」をゲットして頂きました。さらに、当日は強い日差しのため、用意した賞品の「ボトル水」約500本は「あっという間」に無くなり、当ブースは大盛況でした。

また、今回の「科学館まつり2021」への参加では、中部支部のマスコット「エアリス」も水コン協の広報活動に一役かってくれました。



写真-10~12 科学館まつり2021の様子（愛知県下水道科学館）



下水道展'21 大阪 出展報告 水コンサルタントになろう！

対外活動委員会下水道展小委員会／委員長
(オリジナル設株式会社／水インフラ本部 DX 推進部
プランニング開発課長)

平島昌雄

関西支部下水道展／実行委員長
(株式会社日水コン／執行役員／大阪支所長)

今野和弘



1. はじめに

2021年度下水道展が8月17～20日の4日間、インテックス大阪にて開催され、水コン協は「水コン協カフェ'21大阪」と題したリアル展示ブースを出展しました。また、インターネットの下水道展オンラインサイト上にも水コン協展示ブースを出展しました。(次回開催までの2022年8月中旬まで継続して公開されています)



写真-1 リアル展示ブース全景

2. 出展目的と企画内容

(1) 出展目的

下水道展への出展は、第二期中期行動計画の基本方針“人材確保支援のためのイメージアップ活動”の一環とし、今回は8月開催(学生は夏休み)であることから、就職活動を控える学生に対して水コンサルタントの魅力アピールすることで、水コン協及び会員企業のイメージアップを図ることを目的としました。

(2) 企画内容

「水コンサルタントになろう！」と題してブースを作成し、就職活動を控える学生向けのイベントを開催しました。今回は、コロナ禍における出展ということで、リアル展示会場ではイベント企画としてオンライン(Zoom)を通じて下水道展の様子を伝える「下水道展ツアー」と

会員企業の若手社員からコンサルタントの仕事内容や社会的役割、学生へのメッセージをチャット機能を使ってディスカッション形式で対話し、水コンサルタントへの理解を深めてもらう企画としました。

◆ターゲット・・・学生を対象とし、水環境のこと、水コンサルタントがどのようなことをやっているのか、職業紹介を通じて理解してもらう

◆コンセプト・・・学生に水コンサルタントの魅力を伝える

◆キャッチフレーズ・・・『水コンサルタントになろう!』、『感染症対策における上下水道の機能と役割』(今回新たに追加)

(3) 運営体制

大阪のリアル展示では、関西支部の事務局、対外活動部会が出展方針と内容を検討し、関西支部会員企業より公募した実行委員会を設立し、本部下水道展小委員会と合同会議(Zoom会議)を行い、ご助言を反映し運営しました。

- ・ 関水コン下水道事務局：出展企画、運営支援
- ・ 関水コン下水道展実行委員会

(関西支部から公募)：ブース運営、学生イベント企画

- ・ 本部下水道展小委員会：出展企画への助言

また、オンライン展示では、本部対外活動委員会内の「下水道展小委員会」にて出展内容を検討し、下水道委員会並びに総務委員会の協力を得てオンライン展示ブースの作成を行いました。

- ・ 下水道展小委員会：オンライン展示ブース企画
- ・ 関東支部下水道委員会：自治体等のブース来場者対応
- ・ 関東支部総務委員会：出展企画への助言

(4) 出展準備経緯

下水道展'20大阪に向けて2020年3月までに関水コン事務局会議と実行委員会を設置し準備を進めていましたが、2020年4月に下水道展中止が決定されたため、事務局会議及び実行委員会は閉会としました。

2021年1月20日に事務局会議を再開し、本部小委員会と合同会議を行い、出展準備を進めました。関西支部では実行委員会を再開し、イベント企画のスタッフとコン

テンツの詰めを行いました。本部では下水道展小委員会を再開し、オンライン展示の内容等について検討を進めました。

＜2021年下水道展'21大阪の準備活動＞

- 1月20日 関西支部下水道展事務局会議（第1回）
- 2月15日 本部下水道展小委員会（第1回）
- 2月22日 関西支部事務局と下水道展小委員会の合同会議（第1回）
- 4月23日 本部下水道展小委員会（第2回）
- 4月26日 関西支部下水道展事務局会議（第2回）
- 5月20日 関西支部事務局と下水道展小委員会の合同会議（第2回）
- 6月16日 関西支部下水道展実行委員会（第1回）
- 6月24日 関西支部事務局と下水道展小委員会の合同会議（第3回）
- 7月14日 関西支部下水道展実行委員会（第2回）
- 8月10日 関西支部下水道展実行委員会（第3回）

3. 展示内容（リアル展示）

学生向けイベントに併せて、LEDパネル、パンフレット、協会誌等を展示し、また動画コンテンツを放映し、水コン協の活動を紹介しました。

(1) LED展示パネル（6枚の展示）

- ① 上下水道コンサルタントって魅力的！
- ② AWSCJ Vision 2015-2025
- ③ 水コンサルタントの職場
- ④ サステナブルな社会に向けて
- ⑤ 下水道が支える健康で安全な暮らし
- ⑥ 災害時支援の取り組み

(2) 動画コンテンツの放映

ブース内のモニターで3点の動画を放映しました。

- ① 紹介PV「水コンサルタントになろう」
- ② 水コンサルタント紹介動画（下水道編）
- ③ 水コンサルタント紹介動画（水道編）

4. 展示内容（オンライン展示）

下水道展'21では、インターネット上でのオンライン展示会も開催されました。オンライン展示では、オンラインのみの出展者17団体も合わせ、全214もの出展ブースが設置されました。

水コン協オンライン展示ブースでは、リアル展示ブースと同様の展示物（パネル、動画コンテンツ①②）と出展者紹介ページを展示しました。



写真-2 展示パネル（6枚）



写真-3 オンライン展示の様子

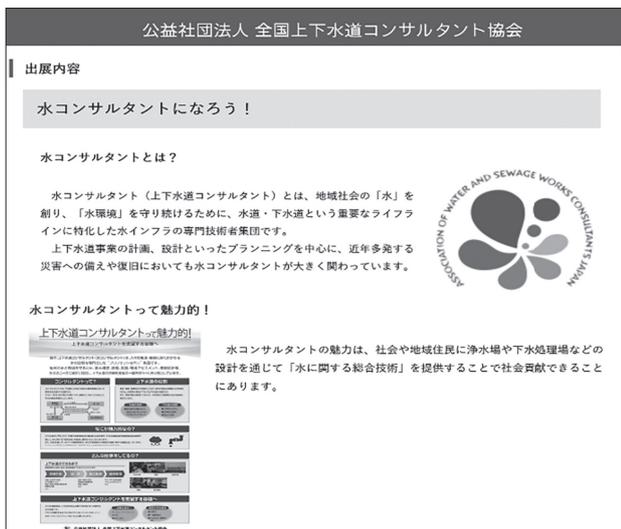


図-1 出展者紹介ページ

道展を紹介する「下水道展ツアー」を実施しました。協会会員企業で出展された3社を訪問し、各社の若手代表者に展示内容のコンセプト、コンサルタントの魅力や働き方などをインタビューしました。



写真-4 出展企業ブース インタビュー (A社)

5. 集客対応

水コン協のホームページに開催案内を掲載しました。学校への案内では、関東支部では2年前の横浜開催時の大学訪問先をベースに、下水道展小委員会メンバーで分担し、研究室教官等に主にオンライン展示について学生へ周知して頂くよう電子メールにて依頼しました。関西支部では事務局会議、実行委員会で大学訪問リストの割り振りを行い、研究室教官、学生へ案内文を持参あるいはメール等で周知しPRを行いました。



写真-5 出展企業ブース インタビュー (B社)

6. 水コン協会下水道展運営状況

(1) 来場者数

コロナ禍での開催となりましたが、下水道展全体では12,825人が来場し、水コン協ブースにはクイズラリー参加の子供を含め341人が来訪しました。全体では前回の横浜展示会の1/4、当協会への来場者数は1/2以下でした。

(2) ブースの様子

リアル展示では、4日間を通じて展示会場からオンラインを通じて実行委員スタッフがレポーターとして下水



写真-6 出展企業ブース インタビュー (C社)

開催日	開催時刻	関連イベント
8月17日 (火)	午後 第1部インタビュー形式 14:00~15:00	
8月18日 (水)	午前 第1部インタビュー形式 11:00~12:00	14:00~16:00 水コン協セミナー 「下水道コンセッション を考えるシンポジウム」
	午後 第2部ディスカッション形式 14:00~15:00	
8月19日 (木)	午前 第1部インタビュー形式 11:00~12:00	13:00~16:00 インターンシップ& キャリアセミナー
	午後 第2部ディスカッション形式 14:00~15:00	
8月20日 (金)	午前 第1部インタビュー形式 11:00~12:00	10:00~16:00 GKP未来会下展イベント 「下水道クエスト」
	午後 第2部ディスカッション形式 14:00~15:00	

図-2 イベント企画内容

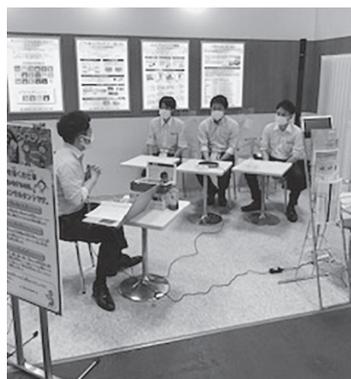


写真-7 実行委員スタッフ ディスカッション

7. 併催行事

水コン協は、リアル展示出展の他に8月18日14時より国際会議ホール（5号館）にて「下水道コンセクションを考えるシンポジウム」を開催しました。

1. 基調講演 日本大学生産工学部 森田教授
2. パネルディスカッション
 - (1) 下水道コンセクションの解説・事例
 - (2) 民間の創意工夫による取組み（企画調整）
 - (3) 下水道コンセクションの課題、期待、展望等

8. おわりに

今回の下水道展'21大阪は、リアル展示とオンライン展示のハイブリット形式で行われました。

開催地の大阪府では8月2日から緊急事態宣言が発令され、入場者が5,000人以下に制限される状況下での開催となりました。また、期間中は天候にも恵まれず大雨警報が発令される中、インテックス大阪会場への来展者数は12,825人と'19横浜展示会（46,659人）の約1/4でした。

当協会ブースへの来展者数は341人と横浜展示会（817人）の1/2以下でした。なお、オンライン展示への参加者は、全体で97,555人でした。

今回のリアル展示では、就活を控える学生向けのイベントとして、展示会場からオンラインを通じて実行委員スタッフがレポーターとして下水道展を紹介する「下水道展ツアー」を企画しました。若手委員がコンサルの仕事内容や社会的役割、学生へのメッセージを伝え、協会会員企業で出展された（株）日水コン、（株）NJS、（株）三水コンサルタントの3社を訪問し、各社の若手代表者に展示内容のコンセプト、コンサルタントの魅力や働き方などをインタビューしました。

オンライン上の学生やインターシップで来場された学生からはチャットで質問があり、実行委員スタッフと3社の若手代表者から丁寧な説明がなされ、学生にもコン

サルタントの魅力や働き方が伝わったと思います。

実行委員会でのイベント企画は、コロナ感染予防対策のためオンライン会議で意見交換して企画の準備を進めてきたため、当日に実行委員スタッフが顔合わせし、コミュニケーションを図りながらリハーサルを行い本番に臨みました。

学生の参加者は少なくなりましたが、4日間にわたり各スタッフからはイベント運営の熱意が感じられ、ブース出展企業や学生にも十分伝わるものとなり、上手く良く連携し滞りなくイベントを実行できました。普段は協業する機会が少ないコンサル各社のスタッフ同士や3社の若手代表者とも親交が深まったことは、当協会にとっても大変意義のある企画であったと思います。

また、協会ブースの受付対応には、会員企業から若手社員が参加してくださり、クイズラリーの親子連れや来場者には率先して声をかけてくださるなど心遣いを頂き、トラブルもなく無事に終了することができました。この点においても、若手社員の方の参加は、有益なものであったと感じます。

今回は、コロナ禍での緊急事態宣言発令という状況の中でリアル展示開催が流動的であったこともあり、集客活動が難しく学生へのPRが限定的となりました。このため、ハイブリット開催では、集客活動を開始するタイミングを早めるなどして、来場できなくてもリモート参加できる企画があることを宣伝した方が良いと感じました。

オンライン展示については、次の開催前までインターネット上で閲覧できるため、水コン協ホームページとの相互リンクにより、水コン協の広告コンテンツとしても活用が期待できます。

本年度の下水道展は、コロナ禍で制約のある難しい状況での開催となりましたが、協会本部、本部下水道展小委員会、関水コン事務局、実行委員会の関係者の皆様には、準備段階から多大なご協力を頂き、無事出展できたことにあらためて御礼を申し上げます。ありがとうございました。



下水道展'21 大阪併催企画

下水道コンセクションを考える シンポジウム開催報告

水コン協官民連携推進ワーキング／座長
(株式会社 NJS / 管理本部 / 事業戦略室 / 室長)

西澤政彦



1. はじめに

水コン協では、下水道展'21大阪にあわせ「下水道コンセクションを考えるシンポジウム」を開催しました。コロナ禍にあって、段階的に開催方法を見直しながらではありましたが、何とかイベントを完遂することができました。シンポジウムにご参加あるいはご聴講いただいた皆様、ありがとうございました。

なお、当シンポジウムは「水コン協官民連携推進ワーキング(WG)」の活動の一環として開催されたものです。まず、官民連携推進WGの活動内容について紹介させていただいたのち、シンポジウムの概要を報告いたします。

2. 官民連携推進WGの活動紹介と「企画調整」の解説

官民連携推進WGは、官民連携分野での水コンサルタントの一層の貢献を目指して、平成30年度より活動しています。国土交通省、日本下水道事業団、学識者との意見交換を行いながら、コンサルタントが活躍できる「企画調整(=事業企画)領域の確立と普及」を活動のターゲットに据え、令和元年度には日本大学森田教授を招請し意見交換を重ねてきました。シンポジウムにおける森田教授のご講演は、意見交換の成果をまとめられた下水道協会誌論文「下水道コンセクションの現状と課題に関する考察(森田弘昭, 下水道協会誌, Vol.57, No.697, 2020/11)」に基づくもので、パネルディスカッションも「企画調整」を主テーマに据えています。

表-1 発注方式別の権限・責任主体

		仕様 発注	性能 発注	コンセクション 方式
経営 企画	発注方式選択	官	官	官
	事業期間・範囲	官	官	官
	要求性能	官	官	官
事業 企画	何をやるか	官	官	民
	やり方	官	民	民

出典：下水道コンセクションの現状と課題に関する考察(森田弘昭, 下水道協会誌, Vol.57, No.697, 2020/11, pp74)

(1) 企画調整とは

わが国では諸外国と比較し急速に人口減少が進行しています。上下水道インフラのあるべき姿を的確に企画し、社会環境の変化に追随させていく必要があります。特に、経営基盤が脆弱な中小規模団体においては、事業の持続を図るための各種施策を企画し、これらを実現させていくプロセスが重要となります。こうしたなか、「下水道事業における公共施設等運営事業の実施に関するガイドライン(国土交通省、平成31年3月)」において、「維持管理」「更新工事」と並ぶ業務領域として、新たに「企画調整」の概念が示されました。この業務領域は、コンサルタントが大きく貢献できる分野と考えられます。

そこで官民連携推進WGでは、コンサルタントの貢献度を高めていくために、様々な官民連携形態における「企画調整(=事業企画)」の業務範囲・内容を研究し、官民連携の推進に向けた取り組みを本格化させていく必要があるものと考え、「企画調整(事業企画)の研究・普及」「具体的な業務構築提案活動」を進めていくこととしています。

(2) 企画調整分野における支援ニーズ

12の地方公共団体(都道府県：1、市町村：11(人口規模1~25万人))を対象として、「官民連携分野にお

表-2 水コンの活用に関する意見交換(抜粋)

1 官民連携で民間事業者にどこまで求めるか	
「何をやるか」「どのようにやるか」を自ら判断して実施して欲しい	8/12
「何をやってもらうか」は決めるので「やり方」にのみノウハウを発揮してほしい	7/12
「何をやってもらうか」「やり方」まで全て指示するとおりに実施してほしい	1/12
その他	2/12
2 コンサルタントにどこまで求めるか	
下水道をどのように運営すべきかコンサルティングしてほしい	6/12
こちらが定めた運営方針にしたがい計画・設計業務を行ってほしい	6/12
こちらの指示に基づき手続き書類の作成や設計図書の作成を行ってほしい	4/12
その他	3/12

注) 表中の数値は、調査対象の12地方公共団体の回答数を示す(複数回答可)

るコンサルタントの活用」に関して意見交換を行いました(表-2)。「何をやるかから検討してほしい」というニーズが高く、「下水道をどのように運営すべきかコンサルティングしてほしい」という団体もありました。

3. シンポジウムの開催報告

(1) シンポジウムの概要

日時：令和3年8月18日(水) 14:00~16:30

場所：インテックス大阪_国際会議ホール+同時配信

募集人数：会場80名+同時配信500名

参加人数：会場67名+同時配信213名

※会場定員300名のところ150名で企画しましたが、感染症のまん延状況からさらに対策を強化し80名に減員しました。さらに、直ぐに80名定員に達したこと、緊急事態宣言発令を考慮し同時配信を追加しました。

コロナ感染症対策：

入場者の検温、手指消毒、受付アクリル板設置、講演者・パネラー間にアクリル板設置、マウスシールド、マスク着用、大声会話禁止、ソーシャルディスタンスの確保につき会場内で案内

写真-1 シンポジウムのリーフレット

(2) シンポジウムの次第

- ①水コン協会会長あいさつ 村上 雅亮
- ②基調講演 日本大学生産工学部 森田教授
- ③パネルディスカッション

◇総合司会・進行 押領司 重昭：関西支部長・官民連携推進WG(三水コン)

◇パネラー

森田 弘昭：日本大学 生産工学部教授

斎野 秀幸：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課 企画専門官

藤井 良和：日本下水道事業団 ソリューション推進部 次長(兼)PPP・広域化推進課長

高橋 正章：メタウォーター(株) PPP本部 プロジェクト運営部長

高田 達也：高松空港(株) 常務取締役企画管理部部長

星 信太郎：官民連携推進WG(日水コン)

◇コーディネータ

西澤 政彦：官民連携推進WG(NJS)

なお、シンポジウムの模様は、アーカイブ視聴が可能です(水コン協HPより)。ぜひご覧になってください。



写真-2 パネルディスカッションの様子

4. おわりに

コロナ感染症のまん延下にて何かと制約の多いシンポジウムとなりましたが、感染症対策や同時配信の実施など、関係者で悩みながら新しい時代のスタンダードを取り込み開催できたことは大きな収穫となりました。

充実した内容のご講演とディスカッションをご提供いただいた森田教授ならびに、斎野専門官、藤井次長、高田常務、高橋部長、星委員、誠にありがとうございました。またシンポジウムの企画準備から当日の会場対応などをご担当いただいた水コン協官民連携推進WGならびに関西支部の皆様、お疲れさまでした。

シンポジウムでは、斎野専門官より「民間提案こそ企画調整ではないか」と、次の活動のヒントをいただきました。「民間提案制度を活用して、コンサルタントが地域水インフラの維持向上に一層貢献していく方法」について、引き続き水コン協官民連携推進WGにて検討を行ってまいります。

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会の変遷

国民生活の向上、産業の拡大成長に不可欠の上下水道整備充実は、国及び地方公共団体において、重要施策としてかけられ、その推進が積極的に行われている。

昭和30年

このすう勢に対応し、昭和30年代から上下水道関係コンサルタント会社が創設され、各地方公共団体における施設整備の増大する需要にこたえてきた。その後人材養成等各社の共通的な課題を解決するため、地区単位でグループ活動を行う気運が高まり、昭和46年に中部地区に水

昭和46年

コンサルタント協議会が創設されたのを皮切りに、各地区に協議会が誕生し、地区行政支局からの密接な指導のもとに当面の諸問題を解決し、かつ、各社が健全な発展を図ることができるよう努力してきた。これらの地区協議会は、夫々の地区の独立団体であり、その活動も地域的に限

昭和49年

られ、必要な技術情報等の交換についても円滑を欠く状況にあったため、昭和49年全国上下水道コンサルタント協議会連合会を発足させ、業界の総力を結集して、国及び地方公共団体への要望活動、他分野のコンサルタントとの協力関係の緊密化など対外活動も合わせて積極的に活動を行ってきた。しかし、この連合会も地区協議会を母体としていたため、その地域性の障壁を払拭する必要が求められ、昭和56年に全国上下水道

昭和56年

水道コンサルタント協会（水コン協）が設立され、会員資格を限定し、全国組織としての形態を備えるに至った。

国の経済が安定成長期に入るにつれ、量的拡大から質的充実へと政策の転換が図られ、国民的意識の多様化、技術革新のテンポの高まりもあり、上下水道関係事業の推進にあたって環境問題をはじめとする各種の分野にまたがる課題が増加し、これらの解決方策の検討にあたり新技術の研究開発、知識情報の共同他、人材の育成確保等が上下水道コンサルタント業界にも強く求められるようになった。

昭和60年

このように広範多岐にわたり行政及び上下水道コンサルタント業界に求められている時代の要請にこたえていくためには、個々の努力では、すでに限界が見え、中心となって実行していく組織が必要となり、昭和60年4月1日に、上下水道コンサルタント関係業者が一体となって上下水道に関する技術の改善向上等につとめ、上下水道コンサルタント業の健全な発展を図り、もって上下水道事業の推進に貢献することにより広く社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、厚生省並びに建設省の許可を得て、社団法人「全国上下水道コンサルタント協会」（水コン協）が設立されました。

平成23年

平成23年11月1日には、公益法人制度改革の下、「一般社団法人」に移行しました。

平成30年

平成30年4月1日に「公益社団法人」に移行しました。

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 倫理綱領

会員は、上下水道コンサルタントとしての使命と職責の自覚にたって、技術に関する知識と経験を駆使して誠実に業務の遂行に努め、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、社会的評価と職業上の地位の向上を図らなければならない。そのため、以下の事項を順守するものとする。

1. 公共の福祉の優先

会員は、公共の福祉の向上に寄与するよう努めなければならない。

2. 社会の持続性の確保への貢献

会員は、地球環境の保全等、社会の持続性の確保に努めなければならない。

3. 専門技術の保持

会員は、専門に関する知見を深めるとともに技術力の向上に努め、その力量を基に業務を遂行しなければならない。

4. 公正かつ誠実な業務遂行

会員は、公正かつ誠実に業務を遂行しなければならない。

5. 秘密の保持

会員は、業務上知り得た秘密を正当な理由なく、他に漏らしてはならない。

6. 信用の保持

会員は、上下水道コンサルタントとしての品位を保持し、欺瞞的な行為、不当な報酬の授受等、信用を失うような行為をしてはならない。

7. 会員相互の尊重

会員は、会員相互の名誉や立場を尊重し、信頼関係の醸成に努めなければならない。

8. 法令等の順守

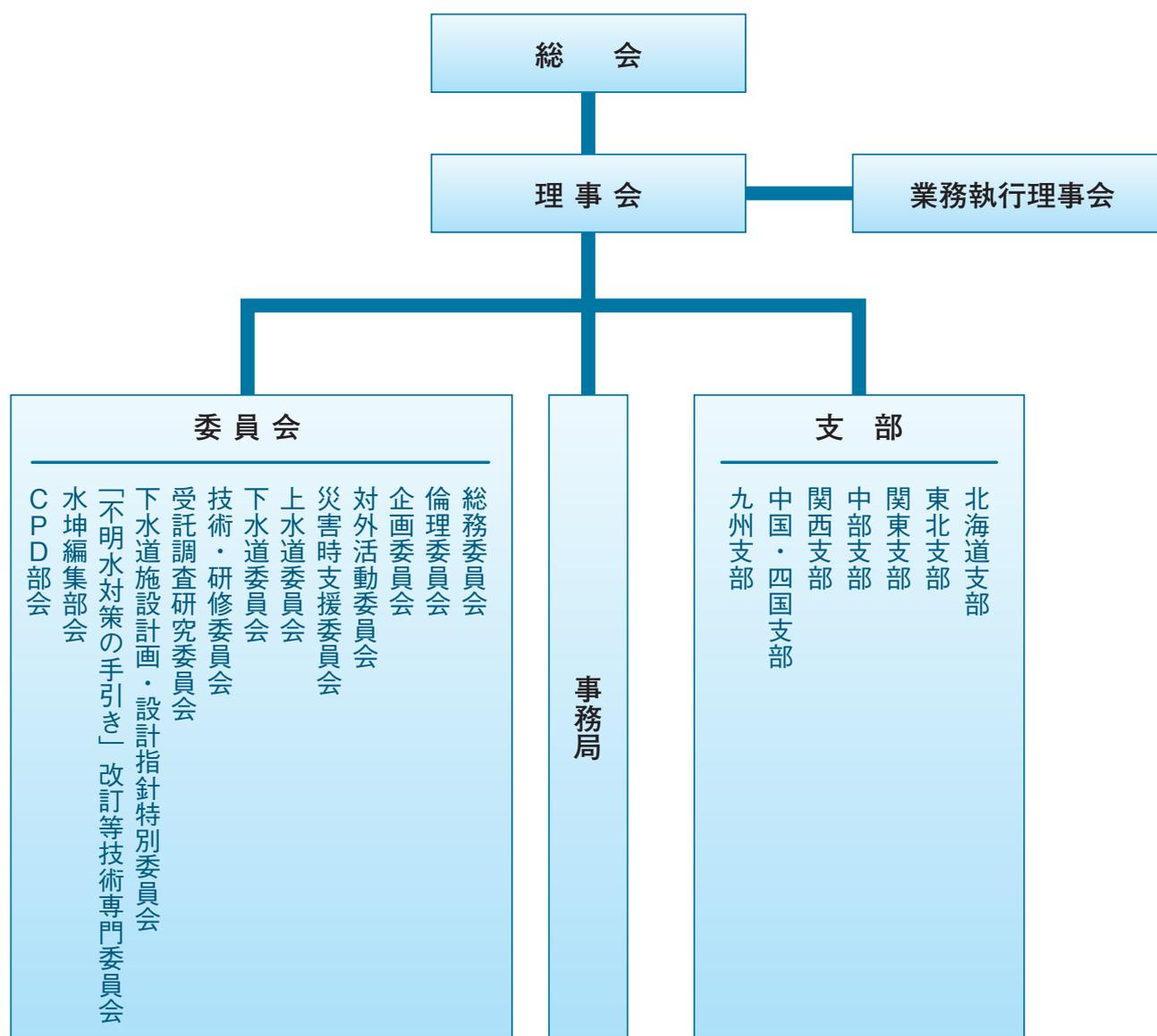
会員は、法令、本会の定款等を順守し、公正かつ自由な競争の維持に努めるとともに、健全な企業活動を行わなければならない。

9. 継続研鑽

会員は、継続的に技術の研鑽と人材の育成に努めなければならない。

改正 平成29年6月8日(総会)
(平成30年4月1日公益社団法人)

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会組織



事務局 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号 スズヨシビル7階
電話 (03) 6806-5751 FAX (03) 6806-5753
E-mail : info@suikon.or.jp URL <https://www.suikon.or.jp>

支部名	所在地	電話・FAX
北海道支部	〒060-0042 札幌市中央区大通西3-11 北洋ビル2階 (株)ドーコン内	電話 (011) 801-1513 FAX (011) 801-1512
東北支部	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-14 (株)三協技術内	電話 (022) 213-3552 FAX (022) 797-6601
関東支部	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-26-8 スズヨシビル7F	電話 (03) 6806-5751 FAX (03) 6806-5753
中部支部	〒460-0003 名古屋市中区錦1-8-6 ONEST名古屋錦スクエア 中日本建設コンサルタント(株)内	電話 (052) 232-6032 FAX (052) 221-7827
関西支部	〒530-0005 大阪市北区中之島6-2-40 中之島インテス19F	電話 (06) 6170-2806 FAX (06) 6170-2807
中国・四国支部	〒733-0035 広島市西区南観音7-13-14 (株)大広エンジニアリング内	電話 (082) 291-1313 FAX (082) 291-3020
九州支部	〒805-0061 北九州市八幡東区西本町2-5-5 (株)松尾設計内	電話 (093) 661-5800 FAX (093) 661-8962